

伊勢市統計レポート



伊勢市の農業について

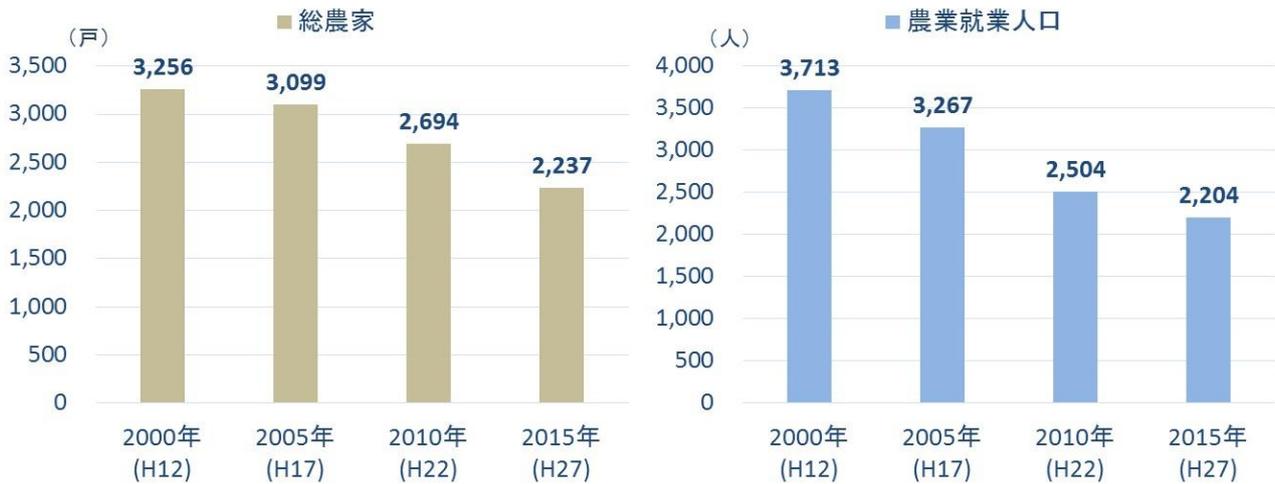
伊勢市の農業については、5年ごとに行なわれる農林業センサスなどで統計調査が行なわれています。農林業センサスでは、農林業を営む世帯の就業に関することや農産物の生産状況などを調査しています。今回は、学生の質問に答える対話形式で、伊勢市の農業についてみていきます。



伊勢市の農業について調べています、いろいろと教えてください。



農業をしている人が減っていると聞いているんだけど、どれくらい減ってきているの？



資料:農林水産省「農林業センサス」

これは、2000年(平成12年)から2015年(平成27年)までの総農家数の推移と農業就業人口の推移を表しています。



15年間でずいぶん減ってきているんだなあ。



2000年(平成12年)から2015年(平成27年)を比べると、農家数は約1,000戸以上も減ってきているんですね。また、農業就業人口も約1,500人も減ってきていますね。

農家

経営耕地面積が10a以上又は調査期日前1年間の農産物販売金額が15万円以上あった世帯

農業就業人口

自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち自営農業が主の者



農業就業人口の年齢構成についても教えてください。



資料：農林水産省「農林業センサス」

これは、2000年(平成12年)から2015年(平成27年)までの年齢別農業就業人口のグラフです。



2000年(平成12年)から2015年(平成27年)の15年間で、15~64歳の人数は半分以下になっているんですね。



農業をする人の割合は高齢者の人が多いんだなあ。

若い年齢の就業者が減っていて、2015年(平成27年)では、7割以上が65歳以上となり、高齢化が進んでいます。だから、農家の後継者の確保が課題となっているんです。





農家といっても、いろんな種類があると思うんですが、農家についても教えてください。

農家には大きくわけて、農作物を主に商品として生産する販売農家と主に自給を目的として生産する自給的農家があります。



資料: 農林水産省「農林業センサス」

これは、1990年(平成2年)から2015年(平成27年)までの販売農家数と自給的農家数のグラフです。



どちらも減っているけど、販売農家数の減少が目立ちますね。



販売農家数の減りが大きいということは、農業で収入を得ている人が減ったということかしら。

販売農家

経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間に於ける農産物販売金額が50万円以上の農家

自給的農家

経営耕地面積が30a未満かつ調査期日前1年間に於ける農産物販売金額が50万円未満の農家



販売農家について、もう少し詳しく教えてください。

販売農家には、専業農家と兼業農家があり、兼業農家の中には、農業所得を主な所得とする第1種兼業農家と農業以外の所得を主な所得とする第2種兼業農家があります。



資料：農林水産省「農林業センサス」

これは、販売農家のうち、専業農家数、第1種兼業農家数、第2種兼業農家数の1990年(平成2年)から2015年(平成27年)までの推移です。



第2種兼業農家数の減少が目立ちますね。



専業農家と第1種兼業農家は2010年(平成22年)よりも2015年(平成27年)の方が増えているね。

専業農家

世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家

第1種兼業農家

農業所得を主とする兼業農家

第2種兼業農家

農業所得を従とする兼業農家



農業産出額も知りたいのですが、教えてください。



資料: 農林水産省「生産農業所得統計」「市町村別農業産出額」

農業産出額については、農林水産省が推計した統計があります。上記のグラフは、伊勢市の主な農作物の農業産出額の推移と2015年(平成27年)の農業産出額です。



「米」と「野菜」は減ってきていて、2015年(平成27年)では「花き」が増えているんですね。



「米」が1位だと思っていたけど、違うんですね。

「米」は国の施策によって、需給の均衡をとって米の価格を安定させるため生産調整が図られ、野菜等への転作が進められています。また、「花き」については、バラやガーベラ・キク・トルコキキョウなどが生産されていて、市場でも高い評価を得ているようです。



いろいろと教えていただき、ありがとうございました。

生産農業所得統計

農産物の生産量及び価格に関する諸統計等を用いて推計したもので、2006年(平成18年)までは、市町村単位で作成されていた。

市町村別農業産出額

農産物の生産量及び価格に関する諸統計等を用いて推計した都道府県別農業産出額を農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分し、市町村別農業産出額を作成したもので、2014年(平成26年)から作成されている。